

大洞原ハイキングコース



「大洞原ハイキングコース」は、平成25年8月13日の真夏の暑い日に、「体験の風をおこそう運動」推進モデルコースとしてオープンしました。オープン時の大洞原「四季の花畑」はひまわりの花で満開であったことも重なり、1ヶ月で約1,000人の利用がありました。季節毎にかわっていく四季の花畑を楽しむことができます。

来上がったものです。今後は、地元や専門家との協働により、ハイキングコースを利用した「新プログラム・協働型プログラム」の開発を検討しています。地元・専門家の経験・地域素材を指導に生かしたプログラム（酪農体験・農業体験・料理体験・自然環境学習・・・）など、様々な妙高の体験の風をおこします。ご期待ください。

なお、「大洞原ハイキングコース」は、「新しい公共」型の管理運営に伴い、「協働型の運営」を取り入れて開発されました。ハイキングコースの選定、立て看板の設置及び目的地でもあるハートランド妙高（妙高山麓都市農村交流施設）との協働運営では、妙高市、妙高市グリーンツーリズム協議会、大洞原地区協議会及び当所の協働により出



大洞原ハイキングコース 全長3.8km

お花畑や自然の森を体験することができます。ハートランド妙高は、地元の人の交流体験ができます。

スタート & ゴール

ハートランド妙高
妙高山麓都市農村交流施設
TEL: 0255-95-3030
http://heartlandcity.com

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン
ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン
ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン	ヒメジョオン

大洞原ハイキングコース (自然の家まで1.6km)

藤巻山階段整備

当所の活動プログラムのひとつである「藤巻山登山」は、毎年約1,000人の子どもたちが利用している人気プログラムのひとつです。四季折々の自然の変化とブナ林など豊かな自然を満喫できるコースとして、また、林道から高田平野・日本海を望むことができ、清流の中で川遊びも楽しめる老若男女を問わず親しまれている往復10キロコースとなっています。

この度は、藤巻山登山道の下山口付近の急斜面に木製階段1200段を上越森林管理署の指導により整備して、子どもたちがより安心、安全に登山をすることができるよう、「新しい公共型」の協働整備を実施しました。期日は、平成25年7月23日、協働機関として、妙高市

教育委員会、妙高市、上越森林管理署、NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会、前橋林業協会新潟支部高田分会、個人ボランティア、当所職員 計45人の方々により、頑丈な木製階段が整備されました。今後とも「新しい公共型」の協働体制を充実させ、「支え合いと活力のある社会」を目標に当事者として参加していきます。ありがとうございました。

「新しい公共型」の協働整備を実施しました。期日は、平成25年7月23日、協働機関として、妙高市



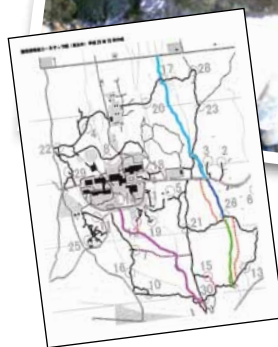
源探検の 新コース開発

源流探検プログラムは、自然の家施設周辺の沢の中を歩きながら源流を目指すプログラムです。幼稚園から小・中学生・一般の団体まで多くの皆様からご利用いただき、混雑が続いていました。そこで、新しい公共型の運営協議会委員等から参画していただき新コースを開発することになりました。

10月、土地を管理されている関山生産森林組合の組合長さん、研修指導員をお願いしているNPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会の会員の皆さんから参画していただき、今年度の利用実態を振り返って、新コースの概要や、開発作業方針の熟議を重ねました。

実際の作業では、研修指導員の皆さんのご協力を得て開発作業を行いました。未開発の沢は、雑木やツルが生い茂り沢を歩くのも困難な現状でしたが作業の後、利用者の皆さんが歩けるような沢に変身しました。また、指導員さんの意見で、沢に至る取り付け道をも開発をすることになりました。この新取り付け道路を経由して沢に至ることで、森を歩く森林学習と、沢を歩く水の学習・火山学習といった、森と水の複合的な学習ができるプランも提供できる見込みとなっております。

今後は、平成26年度の提供に向けて、雑木の伐採や活動マップの作成を計画



新しいマップ
だよ
みなさん
ぜひ新しい
コースを体験
してね



しています。また、指導者会のみなさんは、新コースの植生や生物の調査を計画しています。

国立妙高青少年自然の家周辺の恵まれた周辺環境を生かして、施設職員、実際の利用者の指導に当たっておられる指導員の皆様方と議論を重ねながら、新しい体験活動プログラム、指導資料

を作ることができるとは、まさに新しい公共の視点を具現化するものと考えます。今後とも協働しながら新しいプログラムを開発していきます。



関山生産森林組合組合長兼研修指導員の後藤求さんから、山を知り尽くしたプロに参画していただきました。